

民主島根

2020年
9.27
第1368号

発行所 松江市袖師町3-6 TEL 0852-24-2444
日本共産党島根県委員会 FAX 0852-24-6369

いつ解散・総選挙となってもおかしくない情勢 野党連合政権実現しよう

松江・出雲 大平 前衆議院議員、むこせ氏 まちかど演説

安倍政治を継承する自民党の菅義偉総裁が首相に選出された16日、日本共産党の大平よしのお前衆議院議員（比例中国）は、松江市内5カ所、出雲市内3カ所でもまちかど演説に臨みました。大平氏は「安倍政治とのたたかいは決着は総選挙でつけよう。野党共闘の勝利、共産党の大躍進で安倍政治を終わらせ、野党連合政権を実現しよう」と力を込めました。



松江市内（写真上）、出雲市内（写真下）で宣伝する大平氏ら

尾村県議の一般質問

江の川治水事業の強力な推進を

尾村県議は、県西部の江の川が2018年の西日本豪雨で氾濫してから



をおしつける前に尊厳を持って生きていけるよう『公助』を拡充するのが政治の責任」と強調し「総選挙では、必ず中国プロックでの議席を奪還し、みなさんの声を国会に届けた」と決意表明しました。

9月県議会の論戦から

日本共産党の尾村利成県議は11日、一般質問に、大國陽介県議は18日、一問一答質問で県知事や教育長、県執行部をたどりました。（2面に続く）

大國県議の一問一答

少人数数学級縮小の凍結を

大國県議は、県が来年度から実施しようとしている少人数数学級編制の縮小について「全国知事会なども少人数数学級の推進を要求し、文科省などが検討を開始している」と強調し、知事会の考えや文科省の方向性とは相容れない少人数数学級の縮小は少なくとも「凍結」すべきだと迫りました。



大國氏は、「コロナ禍での長期休校による学習の遅れや、子どもたちの不安とストレスは深刻な問題であり、よりきめ細やかな対応が必要」と指摘。全国都道府県教育長協議会も、文科大臣に「教室内の身体的距離の確保を実現するため1教室あたりの人数を減らす」ことを要望しているとし、「一人ひとりに目が行き届

保育所・児童クラブ改善を

大國県議は「新しい生活様式」を確立するにあたって、保育所や放課後児童クラブの過密も解消しなければならぬと指摘し、「ゆとりある保育の

したことについて「堤防整備や水防事業の強力な推進を」と求めました。尾村氏は、被災者からの「3年前に東京からUターンし、2年前の西日本豪雨では自宅が全壊し、今年は床上浸水した」「氾濫時、常備している災害救助用ボートで今回も避難した。自治会として集団移転を考えている」などの声を紹介。その上で、大橋川改修では国、県、松江市が共同して情報誌を定期的に発行したり、住民に情報提供

し、意見交換を行ってきただのに対し、江の川では、これまで行政と住民とのコミュニケーションが不十分だったと指摘し、「江の川の治水対策を流域治水の方向で強力に推進するために、流域住民と協働して計画づくりや事業を推進する必要がある」と質しました。

丸山達也知事は自らも江の川治水事業推進を国に要望したと述べ、「被災者と自治体が双方向で進めていく必要がある」と答えました。

き、新型コロナウイルス感染から子どもと教職員を守るためにも、国の少人数数学級推進の動きも踏まえ、対応すべき」と求めました。新田英夫教育長は「1教室あたりの人数は」改善が必要、丸山達也知事は「方向性は同じ認識。国の動きを注視していきたい」と答えながらも、感染拡大防止と学校活動の維持を両立することで対応していく考えを示しました。これに対し、大國氏は「一番長く座っている授業（教室）の席の身体的距離を確保するのが大人の責任だ」と強調しました。

鼓動

「これまでに経験したことのない大雨」「数十年に一度の大雨」「命を守る行動を」――ここ数年、よく耳にするようになった言葉ではないだろうか。地球的規模の気候変動によって、世界各国でも日本でも近年、激甚化した豪雨災害が各地で起こるようになってい

▼松江市付近でも、今年5日と11日、1時間に約110mmの大雨が降り、松江地方気象台が「記録的短時間大雨情報」を発表するなど気象災害が身近に迫っていることを痛感している

▼今年の夏も暑かったが、日本の夏は40年前と比べ平均気温が1度程度上がり、日本周辺の海域では1・14度も水温が上昇し、日本の近海は世界の2倍の速さで温暖化が進行しているという。そのため、熱帯から吹き込む暖かく湿った気流が日本近海からも熱や水蒸気を吸収するようになり、積乱雲が発達しやすい要因ともなっている。

気温が1度上昇すると、大気中に含まれる水蒸気は7%程度増加するとされ、10%を超えるかどうかは土砂崩れや河川氾濫が起きる境界線といわれている

▼環境省が作成した「2100年 未来の天気予報（8月21日）」は、産業革命前からの気温上昇を「1・5度以内」に抑える「パリ協定」の目標が未達成の場合、最高気温は名古屋で44・1度、松江では42・1度になると予測▼日本共産党は1月に改定した綱領で、地球規模の気候変動は利潤の追求を地球環境の上におき、果てしない浪費を行う「資本主義システム」そのものが鋭く問われている問題だとし、資本主義の矛盾の焦点の一つと記している。（遠）